

令和8年度（2026年度）熊本県いじめ問題対策連絡協議会記録

期 日：令和8年（2026年）5月26日（火）

時 間：14：00～16：30

場 所：県庁地下大会議室

協議 ア 本協議会の趣旨及び本県におけるいじめ問題の状況等について（説明）

「本協議会の趣旨」

説明：高橋課長（県教委）

「令和7年度心のアンケート」

説明：中島指導主事（県教委）、勝田総合支援課長（市教委）

協議 イ 今後の関係機関・団体の連携の在り方について（情報交換・協議）

①各関係機関及び団体からの取組説明（4団体）

②県が行ういじめ防止等の対策のための施策等の説明（濱近主幹）

③協議（1）いじめの早期発見・早期対応をするためにどのような取組が必要か。

（2）いじめの背景にはどのようなものがあるか。

【情報交換（質疑応答）】

発言者	発言内容
大津町教育委員会 吉良教育長	・市町村教育委員会として、相談にあたり、スクールロイヤーに相談してよい事案か悩むことがあるが、過去の事例等はあるか。
学校安全・安心推進課 高橋課長	・法律相談会での相談内容についての明確な基準はないが、相談例等を事業要項等で示している。 ・相談会だけでなく、いじめ予防授業や、教職員研修の実施等、様々な対応例がある。そうした支援も活用いただきながら、教職員の法的な面での知識習得等の支援につなげていく。
熊本県弁護士会 園田弁護士	・弁護士としては、小さな困りごとの段階から相談いただくことで、予防につながると考える。気軽に相談いただきたい。
大津町教育委員会 吉良教育長	・事案の発生時に重要となるのは、相談の「適時性」と「継続性」と考えている。同じ事案について、同一の弁護士に相談ができる等、継続的に対応いただける体制だとありがたい。
熊本学園大学付属高等学校・中学校 高橋校長	・いじめ事案において、双方の主張が食い違う場合の判断基準や、調査方法、公表の手順等をスクールロイヤーに相談できることはありがたいが、熊本県内でスクールロイヤーを見つけることが難しい現状がある。スクールロイヤーを紹介いただける機関等はあるか。
熊本県弁護士会 園田弁護士	・マンパワー等の問題もあり、紹介制度の確立には至っていない現状。

私学振興課 弓掛課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県としても弁護士会と連携し、私立学校におけるいじめ対策事業に取り組んでおり、スクールロイヤーを講師に招き研修会等を開催している。</li> <li>・その他、いじめへの対応は学校だけでは難しいため、学校から県に相談いただき、県が弁護士会に相談する事業を今年度から始める。こういうことも始めるため、弁護士を御紹介することも可能と考える。お困りの際は、御相談いただきたい。</li> </ul>
学校安全・ 安心推進課 高橋課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立学校と私立学校でいじめ問題の対応に差が出ることがないように、県教育委員会と知事部局でも連携を深めていく。</li> </ul>

**【協議】**

日本学校ソ ーシャルワ ーク学会 岩永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに限らず、日頃感じておられることなど、積極的に声をあげていただきたい。関係機関が一堂に会する場であり、様々な状況を共有する機会としていただきたい。</li> </ul>
熊本県P T A連合会 山口顧問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見・対応のため、日頃から小さな変化に気付ける関係づくりが大切であると考え。そのためには、細やかな観察、保護者との連携、地域対応が重要である。</li> <li>・いじめの背景には様々な要因が挙げられる。支援が必要な子供は、自信を失いやすいので、いじめを問題行動としてみるだけでなく、居場所を整えることが大切と考える。</li> </ul>
阿蘇市教育 委員会 坂梨教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査では、小学生の約9割、中学生の約7割がいじめの加害・被害を経験しており、あらためていじめは誰にでも起こり得ることを認識する必要がある。</li> <li>・小学校低学年でいじめを受けた割合が高く、観察だけでは見逃しやすい状況もある。そこで、阿蘇市では「COCOLOの天気」を活用し、毎朝全ての児童生徒の心の状況の把握と支援につなげている。今後は、教職員の負担を考慮し持続可能な運用を検討していく。また、子供たちがいじめの定義について十分理解できるように努めたい。</li> <li>・授業で心理的安全性を確保し、「何を言っても受けとめてもらえる」学級づくりが重要であり、教育委員会と学校が協力して取り組む。</li> </ul>
熊本県立熊 本高等学校 前田校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生では、表面的ないじめに加え、教師の見えない SNS 上での事案が増えており、背景には SNS による関わり方の変化がある。授業や日常の活動を通して、他者とのコミュニケーションを学んでほしい。</li> <li>・言葉の行き違いから複雑化するケースも多く、教育者として他者との関わり方や情報モラルを考えさせ、嫌な時に「嫌」と伝えられる力を育むため、地道な取り組みを重ねることが重要である。</li> </ul>
熊本市立 江南中学校 星田校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止が第一に必要と考える。そのために一番大切なことは集団作りであり、そのための環境を整えている。</li> <li>・教師がチームで対応し、毎月のきずなアンケートや朝の交通指導で生徒の状況を継続的に把握するなど基本的取り組みを組織的に実施している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月には「命と人権」をテーマに校長講話と生徒総会を行うとともに、生徒自身がスマホルールを見直す機会を大切にしている。</li> </ul>
<p>熊本市立 隈庄小学校 下田校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートに書けない児童もいるため、発信力や良好な関係を築く力を育てる目的で ソーシャルスキルトレーニング を導入している。</li> <li>・平時の授業で教育的愛情をもって児童を観察し、学期ごとの児童面談や年2回の保護者面談で関係づくりを進めている。</li> <li>・担任経験の少ない若手教師が増えているため、学年部や管理職がチームで支え、担任が一人で抱え込まない体制を整えている。</li> </ul>
<p>熊本県臨床 心理士・公 認心理師協 会 山中理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時に自分の気持ちを自覚し伝える力を育てること、「いやと言う」など意思表示できる力を育てたい。「いやと言う」「先生に相談する」などは知識だけでなく、使えるために実際に練習することも大事と考える。</li> <li>・いじめはだめと伝えるだけでなく、望ましい友人関係を示し、良い関係を築けている場面をとらえて褒めてのばすことも重要である。</li> </ul>
<p>熊本県弁護 士会 園田弁護士</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の業務負担の軽減が早期発見につながると考えている。</li> <li>・いじめ調査では、被害側と学校側の時間感覚の違いが不満を生むため、平時から調査方法を検討しておく必要がある。</li> <li>・いじめの背景には SNS が関わることが多く、表情が見えない環境でのコミュニケーションスキルを早期に教えることが重要である。</li> <li>・どんな理由でもいじめは許されないという根本的な価値を、児童生徒に伝え続けることが大切である。</li> </ul>
<p>日本学校ソ ーシャルワ ーク学会 岩永教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の業務負担がいじめ防止に与える影響について、学校側の意見はどうか。</li> </ul>
<p>熊本県教育 委員会 横川局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革と教師の負担軽減を進めている。</li> <li>・県立学校の入学式で校長が「いじめを許さない」メッセージを発信し、教師・生徒・保護者がそれぞれの立場で取り組む姿勢を重視している。</li> <li>・子供の訴えを小さく扱わず迅速に対応することが、いじめを許さない雰囲気づくりにつながると考え、今後も教職員と県教育委員会が一体で取り組みを継続する。</li> </ul>
<p>熊本学園大 学付属高等 学校・中学 校 高橋校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校では早期調査・早期報告を基本としマニュアルも整備しているが、感情的要素やケースごとの差異が大きく、対応に苦慮している。</li> <li>・日頃から児童生徒・保護者との信頼関係を築き、解決につなげることが重要である。</li> </ul>
<p>熊本県公立 高等学校P TA連合会 浅見会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がいじめの原因になることもあると感じている。</li> <li>・子供を守る立場として、保護者が学校や教育委員会と連携し、子供の変化に早く気づき、共に教育していくことの重要性を感じている。</li> </ul>